

# 学習の遅れに対する通級の役割

## 1. 学力等の評価

学力の実態・指導の結果。認知特性

## 2. 学習の仕方の指導

学習の自己管理、各教科における自己解決法など

## 3. 対象児童生徒にあった指導法

実態から、特性に合った指導法を見つけ、指導計画へ

これらの結果を受け、「通常の学級」で実施すること

# 離席・ふらつき・飛びだし

考えられる要因	対応
規範意識が希薄・育っていない	UPの実施・当たり前を評価する
活動に興味を持てない・分からない	UDLの採用・授業モデルの採用・理解力を調査
即時強化が当たり前(慣れ)	こまめに声かけ・トークンシステム・UDL
しつけの問題	家庭との連携

子どもの認識・自覚・理解  
子どもにどうすればいいか、考えさせる